

身を守るために出来る事

宮崎西小学校

四年

日高

太稀

最近宮崎でも、台風六号の影響で大雨がふり、土砂災害のひかいにありました。なので、これから土砂災害が起きた時、自分はどのようにして身を守るかを考えてみました。

まず、土砂災害とは何なのでしようか。土砂災害とは、山やかけがくずれ、土や石、水と混ざり、土砂などが建物を流したりする自然災害の一つです。

次に土砂災害とは、どうやって起こるのでしようか。それは、大雨やじしんなどがきりかけて起きている。この間の宮崎は、大雨が原因で土砂災害が起きました。また、土砂災害は毎年、全国で約千件が被害にあっています。

それから、土砂災害は主に3種類あり、大雨によつて山などの土砂や石が、水と混ざり、谷を流れ落ちていく「土石流」。これは谷の近くに住んでいる人が危険です。二つ目は、

大雨やじしんなどで、急な斜面が崩れ落ちる「かけ崩れ」。これは、家の後ろに山がある人が危険で、土砂災害の中でも一番多い災害です。最後の三つ目は、雨の水がしみ込んだ地下水で、斜面がすべって動く。地すべりです。

次は、土砂災害から身を守るためにぼくが出来る事です。まず事前に近くの避難所をかくにんしたり、とうやうて避難所を考へる事が大切です。次にハザードマップを使

って、①自宅をかくにんする。②避難所をかくにんする。③自分の地域の危ない所を調べ、この順番でかくにんします。そしてぼくも実さいにハザードマップで、調べ、かくにんしてみましたかほくの地域は、比較的安全だと言ふ事が分かりました。しかし、何が起さるか分からないのが災害です。なのでぼくの家でも避難グッズをリュックに入れています。そのリュックに入っている食材や水などは、年に一度、しよう味期限をかくにんして

います。また、他のリ^ユックに入っている避
 難グッズは、かい中電灯やはんそうこう、防
 災ずきん、ライターや衣類などが入っているま
 す。

それから、土砂災害が起こる前には前兆現
 象という物が起きる事が多いと言われているま
 す。まずは「土石流」の前には「山なりがした
 です。土石流が起こる前には「山なりがした
 り、雨がふり続けているのに川の水位が下が
 るなどの前兆現象があります。次に、かけ崩

れ」の前には「起こる前兆現象です。かけ崩れの
 前には、かけにちれ目が見えたり、かけから
 木の根が切れる音がしたりします。最後に地
 すべりの前に起こる前兆現象です。地すべり
 の前には、地面にひびがえたり、家や
 かべにきれつが入ったりします。このように
 、土砂災害が起こる前にはほぼ必ず前兆現象
 が起こると言われています。なのでこのよう
 な現象が起こった時には注意するよう心がけ
 たいと思います。

ばくは、台風のあと、土砂災害について調べ、考えていろいろな事を知りました。土砂災害には三種類あり、それぞれに前兆現象と言われる物が起きる事があり、身を守るために自分が出る事も知りました。この知しきを、今後に生かしたいと思いました。